

平成 30 年度「生徒による授業評価」の結果について（報告）

今年度の全校生徒対象に実施しました「生徒による授業評価」結果を次のとおりまとめましたので、ご報告いたします。1 回目は前期（夏季休業前）に実施し、当該授業の課題等の把握をし、2 回目は後期（冬季休業前）に実施し、課題の改善状況について把握をしました。

1 生徒による授業評価

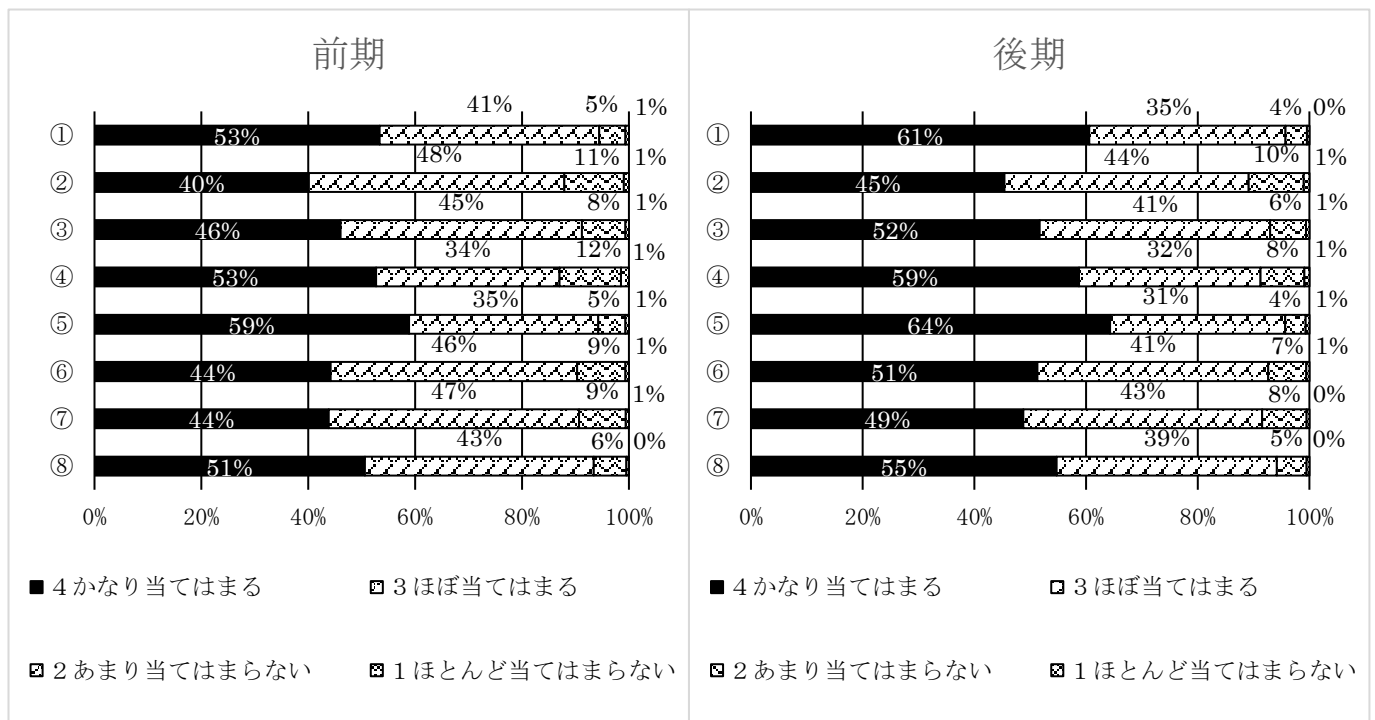
アンケートでは、以下の項目を全教科共通項目として 1～4 の評価で回答してもらいました。

- ①教材が工夫されるなどして、取り組みやすい授業である。
- ②私は、授業で学習した内容がだいたい理解できている。
- ③生徒の理解度に合わせて、授業が進められている。
- ④授業中、生徒同士で話し合う機会や意見などを発表する機会がある。
- ⑤説明の仕方がていねいで、わかりやすい授業である。
- ⑥生徒一人ひとりに目を配った、きめ細かい指導がなされている。
- ⑦私は、授業でわからないところがあったら、先生や友達に聞いたり、自分で調べたりするなどしてわかろうとする努力をしている。
- ⑧私は、授業に対して意欲的に取り組んでいる。

評価： 4 かなり当てはまる、3 ほぼ当てはまる、2 あまり当てはまらない、1 ほとんど当てはまらない

2 全体の集計結果

4 段階の評価の割合は、以下の通りです。縦軸の数字①～⑧は上記の評価項目を表しています。



平成 30 年度の各項目における、評価項目の平均値は以下のようになりました。

全体	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
前期	3.53	3.34	3.43	3.41	3.58	3.41	3.38	3.49
後期	3.61	3.40	3.49	3.53	3.64	3.49	3.44	3.53

3 まとめ

今年度は「生徒の目をより輝かせる『主体的・対話的で深い学び』を促す授業」をテーマに組織的な授業改善に取り組んでまいりました。

前期と後期を比較すると、項目⑤(説明の仕方がていねいで、わかりやすい授業である。)が最も高い評価となり、続いて項目①(教材が工夫されるなどして、取り組みやすい授業である。)が高い評価となりました。評価項目平均値を現在と同じ評価項目の過去4年間と比較したところ、すべての項目において最も高い評価を得ることができました。

また、後期では、項目④(授業中、生徒同士で話し合う機会や意見などを発表する機会がある。)の、評価4(かなり当てはまる)の割合は59%となっています。この結果と、昨年度の神奈川県全体の集計における同項目の評価4の割合が37.3%であったこととを比較すると、本校の水準はかなり高いものであると考えられます。

一方で、項目②(私は、授業で学習した内容がだいたい理解できている。)は、昨年度に比べ上昇しているものの、全項目中最も低い評価であり課題となっています。今後も職員一同、これからの更なる授業改善及び学習指導の改善に取り組んでいきたいと考えております。

問合せ先

研究開発グループ

総括教諭 鎌田 千春

教 諭 西島 朝

電 話 (0465)23-1202